日本版エネルギー転換に関するワークショップ

日本のエネルギー転換のために、ドイツの知見を得て、ボトムアップの取り組みを促進することを目的に、1）市民電力を増やす、2）都市公社を増やす、3）支援政策を行う自治体を増やす（屋根貸し事業、新築時の省エネ・再エネ検討義務化など）といった取り組みを進めることが重要である。そのために、①市民電力のマニュアルづくり、②都市公社のマニュアルづくり、③再エネの経済効果を示すツールの向上・普及啓発、④自治体の優良支援政策の具体作業計画を検討する。

〔概要〕

日時：2016 年 9 月 30 日（金曜日）16:00～18:00

場所：IGES 東京事務所会議室（住所：東京都港区西新橋 1-14-2 新橋 SY ビル 4 階）

http://www.iges.or.jp/jp/access/tokyo.html

主催：（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）、（一社）イクレイ日本（ICLEI 日本）

参加者：エネルギーの地産地消に取り組む関係者（計 15 名程度）

プログラム（案）：

16:00-16:10	挨拶 藤野純一　IGES 上席研究員／シニア・コーディネーター
16:10-16:25	ドイツとの自治体連携を通じた再エネ・省エネ好事例の移転プロジェクト 川又 孝太郎　在ドイツ日本国大使館参事官
16:25-16:40	日本におけるコミュニティ再エネの展開 ISEP
16:40-16:55	地域公社の展開 冨永聖哉　IGES 持続可能な都市領域客員研究員／㈱ATGREEN マネージャー
16:55-17:10	再生可能エネルギーによる地域経済効果分析 ラウパッハ・スミヤ ヨーク　立命館大学経営学部
17:10-17:25	自治体におけるエネルギー利用の展開 大塚 隆志　一般社団法人 ICLEI 日本事務局長
17:25-18:00	ディスカッション（今後の作業について）